

# 序にかえて

5年前、14号を発刊して以来、しばらく休刊していたこの研究誌を、私たちは、再び発刊することにした。

だが休刊していた5年間は、ただ休んでいたわけではない。実質的には、菅支那先生退職記念論文集「日本の児童福祉」（家政教育社刊）の刊行に、研究室全員が力をそそぎ、それをもって代えることにしてきたからである。また、その間における大学問題噴出のさなかで、研究誌発刊以上の意味ある共同討議と、研究の起点になる私たちの在り方の問題を、各自でたしかめ、交流しあってきたからである。今日この15号発刊にあたり、私たちは、まさに現代において、社会福祉研究こそがいかに必要であるか、またそれに参加する私たちの責任がいかに重いかを、痛切にそして深く感じている。

ことに、今年は、たまたま本学科創立50年をへた年にあたる。そのため、記念事業のひとつである歴史編纂を決意し、第一歩をふみだして、多少の成果も、この誌に掲載することを試みた。

研究室半世紀の歩みを無駄にせず、しかも現代の挑戦に存分に応えうるよう、私たち一人一人の成果とともに研究室員のエネルギーが、今後この誌にもりこまれていくよう努力することを誓いつつ、序にかえたいと思う。

学内、学外の関係者の方々とどまらず、日本の社会福祉が、この激しい歴史の流れのなかで、正しく進展することを願う方々の、より一層の御声援、御協力をお願いする。

昭和47年1月20日

社会福祉学科主任

一番ヶ瀬 康子